

審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針について

まちづくり局

評価実施事業	「南武線駅アクセス向上等整備事業」
所管課	交通政策室
審 議 結 果	
<p>評価結果及び事業をめぐる社会経済状況等を勘案し、事後評価の内容については、透明性、客観性及び公正さが確保されており妥当と判断</p> <p>【付帯意見】</p> <p>計画の推進に当たっては、現状として踏切横断の安全性に課題があることから、用地交渉の手法や施工計画をより一層工夫することで、早期の供用開始に向けて、事業を推進していくことが望まれる。</p> <p>また、供用開始までに時間を要することから、並行して稲田堤駅及び津田山駅前の踏切の安全確保に向けた対策を十分検討するとともに、今後整備を予定している武蔵溝ノ口駅以北の3駅についても、現状の安全性を確認した上で、早期の課題解決に向けた対応策を検討していくことが望まれる。</p>	
審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針	
<p>早期の供用開始に向けた取組につきましては、今後も関係地権者との用地協議をより丁寧かつ粘り強く行うとともに、土地収用法の適用も視野に入れ、様々な観点から事業期間の短縮に務めてまいります。</p> <p>また、踏切の安全対策につきましては、これまでも交通管理者や関係団体と連携し、交通安全運動の一環とした啓発運動や路面のカラー化などの安全対策を実施してきたところですが、橋上駅舎工事中の期間中も含め、引き続き安全確保に努めてまいります。</p> <p>さらに、次期整備駅につきましては、橋上駅舎化には多くの事業費と時間を要することから、円滑で効果的な事業展開を図るとともに、暫定的な両側改札の設置など早期に駅へのアクセス性を向上させるあり方も含めて、JR東日本と協議・検討を行ってまいります。</p>	